



こはく色の目

ランゲベック作 木村由利子訳 文研出版

ぼくは、ヤーコブ。パパとモンタナ州の荒野乗馬ツアーにやってきた。でも、一人でキャンプを離れたとき、ハイイログマと遭遇。逃げるうちに道に迷い、谷間に落ちてしまった。運よく命は助かったけど、パパから遠く遠く離れた谷間の深い底に一人ぼっちだ。やがて、遠ぼえが聞こえてきた。あわてて岩穴にもぐりこんだぼくを、一對のこはく色の目のぞきこむ。オオカミだ！

大自然の中で育まれるオオカミと少年の絆を、獣医でもある著者が生き生きと描いた物語。

